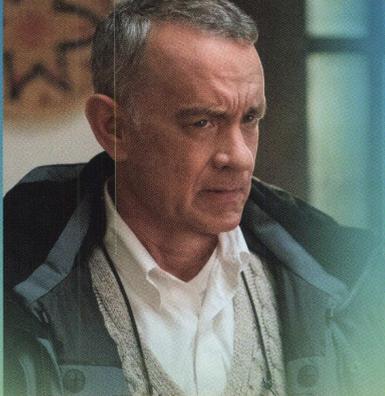


二度のアカデミー賞に輝く名優  
トム・ハンクス史上最も泣ける映画

二度のアカデミー賞に輝く名優



## “町内イチの嫌われ者” オットー・アンダーソン

いつもご機嫌斜めなオットーは、  
**曲がったことが大っ嫌い**で、近所を毎日パトロール、  
ルールを守らない人間には**説教三昧**、  
挨拶をされても**仏頂面**、**野良猫には八つ当たり**、  
なんと面倒で近寄りたくない男。それが**〈オットーという男〉**。

「こんな世の中、もううんざりだ。」

そんな彼が人知れず抱えていた孤独。

仕事もなくし、最愛の妻にも先立たれたオットーは、妻の後を追って  
自らの人生にピリオドを打とうとする。

しかし、向かいの家に引っ越してきた家族に邪魔され、死にたくても死ねない。

それも、一度じゃなく二度、三度も…。

世間知らずだけど、とにかく陽気で人なつこく、

お節介者のマリソルは厳格なオットーとは真逆な性格。

苦手な車の運転や、小さい娘たちの子守を頼んでくる。

この迷惑一家の出現により

“自ら人生をあきらめようとしていた男”

の人生は一変していく—



## オットー という男

A MAN CALLED OTTO



「人生、捨てたもんじゃない」

名優トム・ハンクスが演じるのは嫌われ者の頑固爺さん。

ルールを守らない人たちに腹を立て  
いつも不機嫌なオットーという男の人生が、

向かいに越してきた一家によって  
変わっていく—。

自分とは正反対な家族に振りまわされ  
ながらも、その触れあいを通して  
もう一度生きる希望を見つけていく様を、  
ユーモアあり、涙ありで描いた感動作。



監督は『ブーと大人になった僕』のマーク・フォスター。原作は世界的ベストセラーとなつたスウェーデンの小説。『幸せなひとりぼっち』というタイトルで映画化もされ、アカデミー賞の外国語映画賞にノミネート。この作品に魅せられたトム・ハンクスがプロデューサーにも名を連らね、ハリウッドでリメイク。オットーの喜怒哀楽、心の変化を演じたトムの見事な演技に誰もが心を揺さぶられ、オットーという男を愛してしまうに違いない。

原題: A Man Called Otto 監督: マーク・フォスター (『ブーと大人になった僕』『ネバーランド』『君のためなら千回でも』)  
脚本: デヴィッド・マギー (『ライフ・オブ・パイ』と漂流した227日』『ネバーランド』ともにアカデミー賞 脚色賞ノミネート)  
製作: リタ・ウィルソン/トム・ハンクス 原作: フレドリック・バックマン『幸せなひとりぼっち』(ハヤカワ文庫)  
出演: トム・ハンクス/マリアナ・トレビニョ (TVシリーズ『クラブ・デ・クエルポス』) / マヌエル・ガルシア・アルルフォ (『マグニフィセント・セブン』) / レイチェル・クレー (TVシリーズ『TOKYO VICE』)  
配給: ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

3/10 FRI  
ROADSHOW

www.otto-movie.jp @SonyPicsEiga



劇場内での映画の  
撮影・録音は犯罪です。  
無断での撮影・録音は  
www.eigakan.org  
0120-550098

トム・ハンクス

町内イチの

嫌われ者。

だけど…

好きにならずにいられない。

# オットー という男

A MAN CALLED OTTO

3.10 FRI.  
— 全国の映画館にて公開 —

世界的大ベストセラーの映画化

マーク デヴィッド マーク  
フォスター マギー フォスター  
作品 脚本 監督

